学校だより　12月号

にほんまつ

相模原市立二本松小学校
2025.11.28

「かしこさ」
「やさしさ」
「たくましさ」

松っ子ブログ

「非認知能力」も高める国語科の授業

校長　松浦　隆志

「非認知能力」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。学力や知能テストの点数など、知識や思考力のような数値化できる力を「認知能力」というのに対して、意欲や忍耐力、協調性など、数値では図りにくい力を「非認知能力」といいます。「認知能力」と「非認知能力」とは相互に関連し合っており、どちらも大切ですが、今までの教育では、「認知能力」にばかり光が当たっていました。しかし最近では、「非認知能力」が注目されるようになってきていて、世界中で「非認知能力」を育てるプログラム「ＳＥＬ（Social　Emotional　Learning）」が実践されるようになっています。（視察で行ったニュージーランドでも行われていました。）

ある説では、この「非認知能力」を、具体的に次の５つの資質・能力に整理しています。

① 自己認識能力（自己理解力）… 自分への気付きを深める能力
② 自己管理能力 … 自分の感情とうまく付き合う能力
③ 社会認識能力（共感力） … 他者への気付きを深める力
④ 関係性構築能力（社会スキル）… 他者と良好な関係を築く対人関係力
⑤ 責任ある意思決定能力 … 責任をもって意思決定できる力

二本松小学校では、国語科の授業を研究しています。 令和７年度の研究のテーマは、「つなぐ　～　自己・他者・教材・教師　～」。

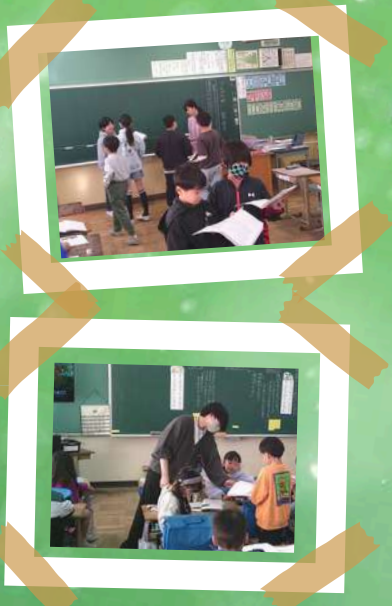
最近、本校での国語科の授業を見ていると、子どもの「認知能力」だけではなく、「非認知能力」も育成しているのではないかと感じています。

様々な教材と向き合い、自分の考えと向き合うこと。身につけた語彙の中から選んで、自分の考えを言語化して相手に伝えること。友だちの意見を聴き、共感したり、自分の考えと比べて考えたりすること。様々な考えにふれ、改めて自分の考えを深めること…。

かつて、本校で講師をしてくださっている先生に「国語科を学ぶと、子どもにどんな影響があるのか」という質問をした時に、「子どもたち同士のトラブルが減って、学校が落ち着く」と話をしてくださったのを様々な場面で思い出す今日このごろです。

本年も残り、１か月となりました。保護者の皆様には、様々な場面で本校の教育活動にご理解とご協力を賜りましたことを感謝申し上げます。今後学校へいらした際には、是非そうした子どもたちの様子も見ていただければ幸いです。

国語科の授業の様子



１２月　行事予定		下校時刻					
		１年	２年	３年	４年	５年	６年
1日　月		13:15	14:00				
2日　火		14:30		15:20			
3日　水	音楽集会（６年）	14:30		15:20			
4日　木	松っ子まつり（昼～５校時）学年費集金日 あいさつ運動・PTAグリーティングロード	14:30			15:20		
5日　金	委員会活動⑦	13:15				14:00	
6日　土							
7日　日							
8日　月		13:15	14:00				
9日　火	A5月金日課個人面談①	14:00					
10日　水	A5月金日課個人面談②	14:00					
11日　木	A5月金日課個人面談③	14:00					
12日　金	A4個人面談④	13:15					
13日　土							
14日　日							
15日　月	個人面談⑤ ＭＩＭ週間	13:15	14:00				
16日　火	清掃週間～２２日	14:30		15:20			
17日　水	音楽集会（1年）	14:30		15:20			
18日　木	松っ子交流⑤	14:30			15:20		
19日　金	交通指導日	13:15		14:00			
20日　土							
21日　日							
22日　月	給食終了 大掃除（５校時）	14:00					
23日　火	A4給食なし	12:15					
24日　水	A4給食なし　終業式	12:15					
25日　木	冬季休業						
26日　金							
27日　土							
28日　日							
29日　月							
30日　火							
31日　水							
		１年	２年	３年	４年	５年	６年

お知らせ　学童(二本松こどもセンター)に通っている児童の連絡方法

○１年生の下校の仕方が、１１月１８日より、各自下校となりました。合わせて、学童へ通っている１～３年生の児童の連絡方法について、学校で統一いたします。

●今後は、学童の出欠は登校前に必ずお子さんと確認してください（学校への連絡は不要です）。

●出欠の変更については、直接、学童(二本松こどもセンター)へ連絡をお願いいたします。

ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。